

## 編集後記

人間で言えば「不惑」の歳を迎える土木工学科の記念誌としてどのようなものにすべきか、40周年記念実行委員会を立ち上げた2003年8年から、記念事業実行委員会、記念誌編集部会で多くの議論を重ねてきました。その結果、基本的な方針は20周年記念誌と同様、楽しく読んでいただける内容とし、40年間の資料と40年という節目の土木工学系関連学科、専攻の現状をできる限り盛り込むことになりました。もう一つの大きな方針は、これまでに土木工学科に関係された多くの方々にこの記念誌作りに加わっていただくということです。そのため、旧教官、現教員、卒業生にご寄稿や思いで深い写真のご提供をお願いし、多数のご寄稿文、お写真を頂きました。また、卒業生に対するアンケート、在校生を含む若手のみでの座談会を実施し、土木工学について多くの視点からの意見をいただくことができました。ご協力いただきました多くの方々に、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

この記念誌で最もスペースをとっている箇所は、資料編であり、そこには創設以来すべての卒業論文、修士論文、博士論文の指導教官及びタイトル、卒業生の写真等が掲載されています。20周年記念誌を見てこれらの資料は簡単に揃うであろうと考えていましたが、豈に図らんや、これがとてつもなく大変な作業で、関係研究室、旧教官にご迷惑をかけながら、教務課に倉庫保管の資料まで搜索していただき、最終的には何とか全員分の情報を入手することができました。また、写真編につきましては、書庫、引き出し、アルバムを引っ掻き回し、できるだけ多くの卒業生の在学時の写真を探しましたが、残念ながら創設期の幾つかの期につきましては集合写真を見つけることができませんでした。40年という歴史の重みとアーカイブスの大切さを痛切に感じつつ、40年だからなんとかここまでになり、今後の継続的な資料管理の基礎ができたと思っております。もし、内容に抜けや誤りがございましたら是非ご指摘いただきたくお願い申し上げます。

これまでの40年の発展、また大きな変革期を迎えた現在の日本の大学の大学環境を考えますと、土木工学科が「不惑」から「知命」に至るこれからの10年、更にはその先、これまで以上の大きな変化が展望されます。次の記念誌では、これらの変化に対応し更に成長し、着実に歴史を刻み続ける土木工学科を見ていただけますよう、土木工学系教官一同一層の努力をいたす所存です。今後ともよろしくご支援、ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本誌出版を含めた40周年記念事業のために多大なご寄付を頂きました方々に深くお礼申し上げます。

平成17年6月

東京工業大学土木工学科設立40周年記念事業委員会 記念誌編集部会

竹村 次郎（幹事）、神田 学、渡辺 学歩、井澤 淳、井上 修作

＜東京工業大学土木工学科設立40周年記念事業委員会＞

池田 駿介（委員長）、友石 研二、大島 一哉、早川 康之、  
岡山 和生、高辻 哲、田中 正典、歌原 英明、二羽淳一郎、  
屋井 鉄雄、竹村 次朗（幹事長）

編集発行者 東京工業大学  
土木工学科設立40周年記念事業会  
152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1

印刷所 昭和情報プロセス株式会社  
108-0073 東京都港区三田5-14-3